

固定価格買取制度導入後の 再生可能エネルギー発電設備の導入状況について

資源エネルギー庁によれば、平成 25 年 11 月末時点で、固定価格買取制度導入後の再生可能エネルギー発電設備の導入量は、累計で 645.3 万 kW となっている。

表 再生可能エネルギー発電設備の導入状況について

再生可能エネルギー発電設備	固定価格買取制度導入前	固定価格買取制度導入後	
	平成 24 年 6 月末までの累積導入量	平成 24 年度 (7 月～3 月末)	平成 25 年度 (4 月～11 月末)
太陽光(住宅)	約 470 万kW	96.9 万kW	95.3 万kW
太陽光(非住宅)	約 90 万kW	70.4 万kW	363.2 万kW
風力	約 260 万kW	6.3 万kW	0.9 万kW
中小水力	約 960 万kW	0.2 万kW	0.3 万kW
バイオマス	約 230 万kW	3.0 万kW	8.8 万kW
地熱	約 50 万kW	0.1 万kW	0 万kW
合計	約 2,060 万kW	176.9 万kW	468.5 万kW
		645.3 万kW	

各内訳ごとに四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

出典：平成 26 年 2 月 21 日資源エネルギー庁報道発表資料

なお、平成 24 年 7 月より開始された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に基づく平成 25 年 11 月末までの認定件数は 721,510 件(504,672 件が運転開始)となっており、うちメタン発酵ガスによる発電設備が 39 件(15 件が運転開始)、一般廃棄物等による発電設備が 25 件(うち 14 件が運転開始)となっている。